

シーシーエス株式会社
2013年7月期第3四半期
決算説明



2013年6月12日

JASDAQ コード6669

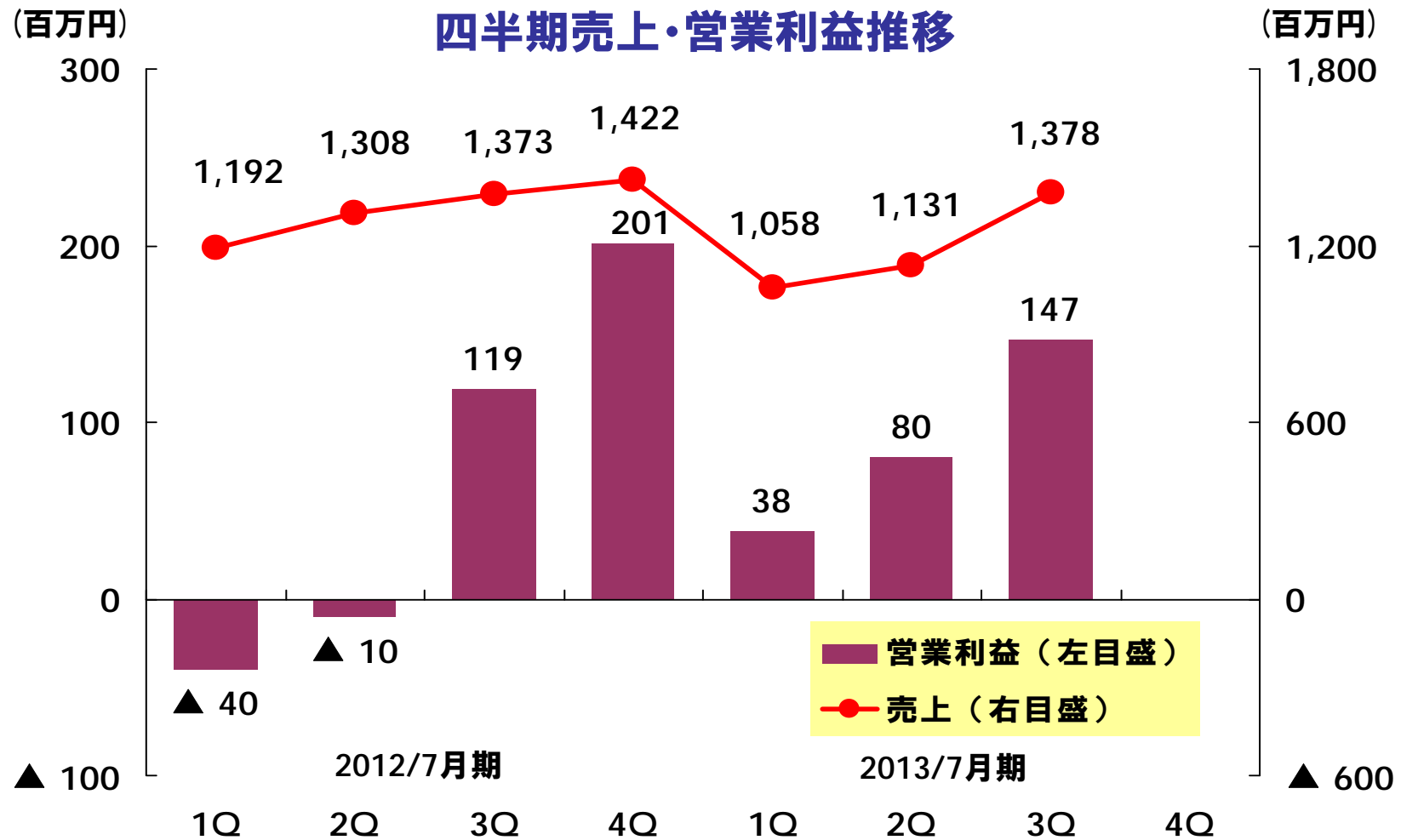
目次

1. 2013年7月期 第3四半期決算概要
2. 2013年7月期 第3四半期事業分野別の状況
3. 通期業績予想について
4. 参考資料～会社概要

1. 2013年7月期 第3四半期決算概要

決算ハイライト

売上は2013/7月期1Qを底に回復基調
営業利益も2013/7月期は、順調に拡大



決算キーポイント

2012年7月期3Q			2013年7月期3Q	
売上	:3,873百万円	➡	売上	:3,568百万円
営業利益	:68百万円		営業利益	:265百万円

前期比較で売上は減少したものの、
売上総利益率の改善と販管費の削減により営業利益は増益

売上:▲305百万円 営業利益:+197百万円

- ①売上総利益率の改善 58.2%→59.4% +1.2ポイント改善
 - ・不採算事業からの撤退（植物育成プラント事業、BtoC向け新規事業）
 - ・製造コスト削減
- ②販売管理費の削減 2,185百万円→1,854百万円 ▲331百万円
 - ・植物育成プラント事業(FPT) ▲120百万円
 - ・新規事業 ▲103百万円

2013年7月期第3四半期 連結業績

(単位:百万円)

	2012/7期3Q		2013/7期3Q		増減	
	累計実績		累計実績		前年同期比	
	金額 [A]	売上比 (%)	金額 [B]	売上比 (%)	[B]-[A]	[B]/[A]-1 (%)
売上高	3,873	100.0	3,568	100.0	▲305	▲7.9
売上原価	1,619	41.8	1,448	40.6	▲171	▲10.6
販管費	2,185	56.4	1,854	52.0	▲331	▲15.2
営業利益	68	1.8	265	7.4	+197	+288.1
経常利益	25	0.7	229	6.4	+203	+782.9
当期純損益	▲63	▲1.6	165	4.6	+229	—

前年同期比

キーポイント

売上高



国内設備投資の動きが弱く売上は減少

販管費



不採算事業の撤退、経費削減により減少

営業利益



利益率の改善、販管費の削減で増益

当期純損益



黒字化へ

事業別の状況

(単位:百万円)

売上高	2012/7 期2Q	2013/7 期2Q	増減	
	累計実績 [A]	累計実績 [B]	前年同期比 [B] - [A]	[B] / [A] - 1(%)
LED照明事業	3,820	3,568	▲251	▲6.6
植物育成プラント事業	53	—	▲53	—

国内設備投資への動きは慎重、また中国市場での競争激化により売上は減少
植物育成プラント事業は2012年4月をもちまして撤退しました。

(単位:百万円)

営業利益	2012/7 期2Q	2013/7 期2Q	増減	
	累計実績 [A]	累計実績 [B]	前年同期比 [B] - [A]	[B] / [A] - 1(%)
LED照明事業	197	265	+68	+34.5
植物育成プラント事業	▲131	—	+131	—

売上総利益率の改善と販売管理費の削減により、営業利益は増加しました。
植物育成プラント事業は2012年4月をもちまして撤退しました。

貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

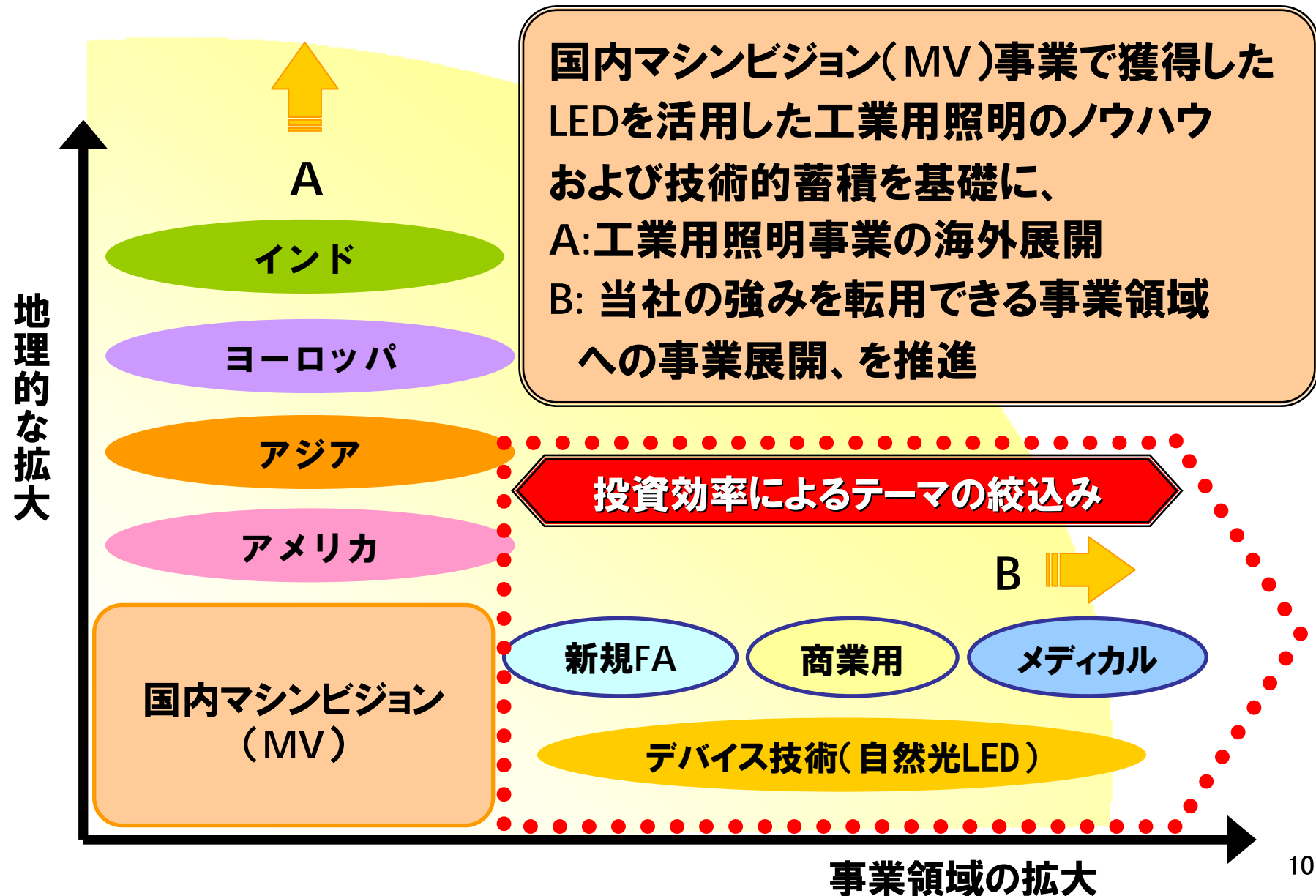
資産	12/7 期末	13/7 3Q	負債・純資産	12 /7 期末	13/7 3Q
現金及び預金	1,207	2,004	流動負債	2,146	2,694
受取手形・売掛金	1,425	1,209	固定負債	1,447	1,139
たな卸資産	1,077	989			
その他	230	241			
流動資産合計	3,941	4,445	負債合計	3,593	3,834
有形固定資産	1,400	1,406	資本金	462	462
無形固定資産	56	46	資本剰余金	1,514	1,460
投資その他の資産	95	94	利益剰余金	93	258
			為替換算調整勘定	▲169	▲22
固定資産合計	1,553	1,547	純資産合計	1,900	2,158
資産合計	5,494	5,993	負債・純資産合計	5,494	5,993

短期借入金の増加、受取手形・売掛金の回収が進んだことにより現金及び預金は増加しました。

2. 2013年7月期第3四半期 事業分野別の状況

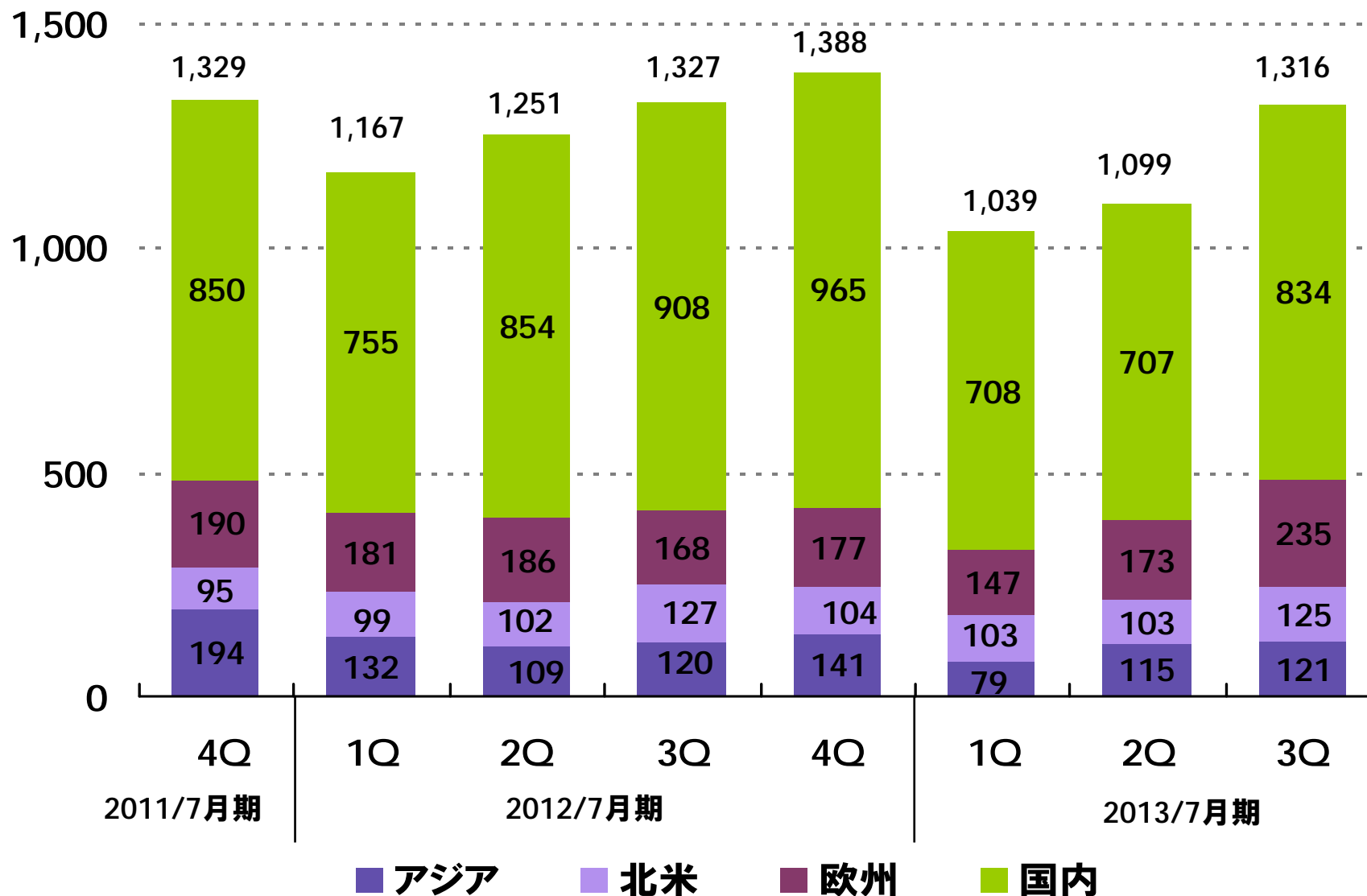
- ① 当社の事業戦略
- ② 工業用照明事業
- ③ 新規事業

①当社の事業戦略



②工業用照明事業 —地域別売上高(四半期毎)—

(単位:百万円) (2011年7月期4Q~2013年7月期3Q)

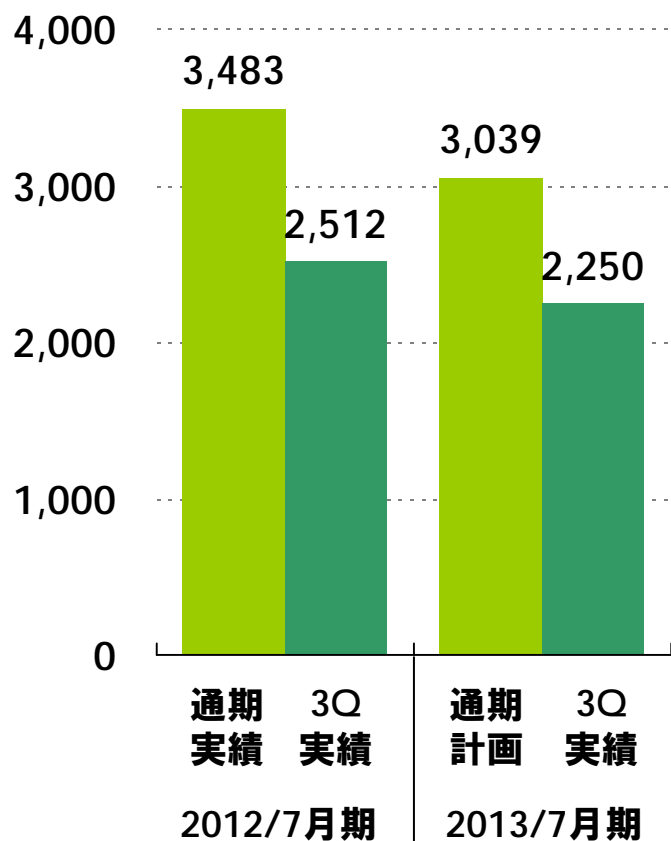


②工業用照明事業 —国内—

■ 2012/7期通期実績、2013/7期通期計画

■ 第3Q売上実績

(単位:百万円)



売上

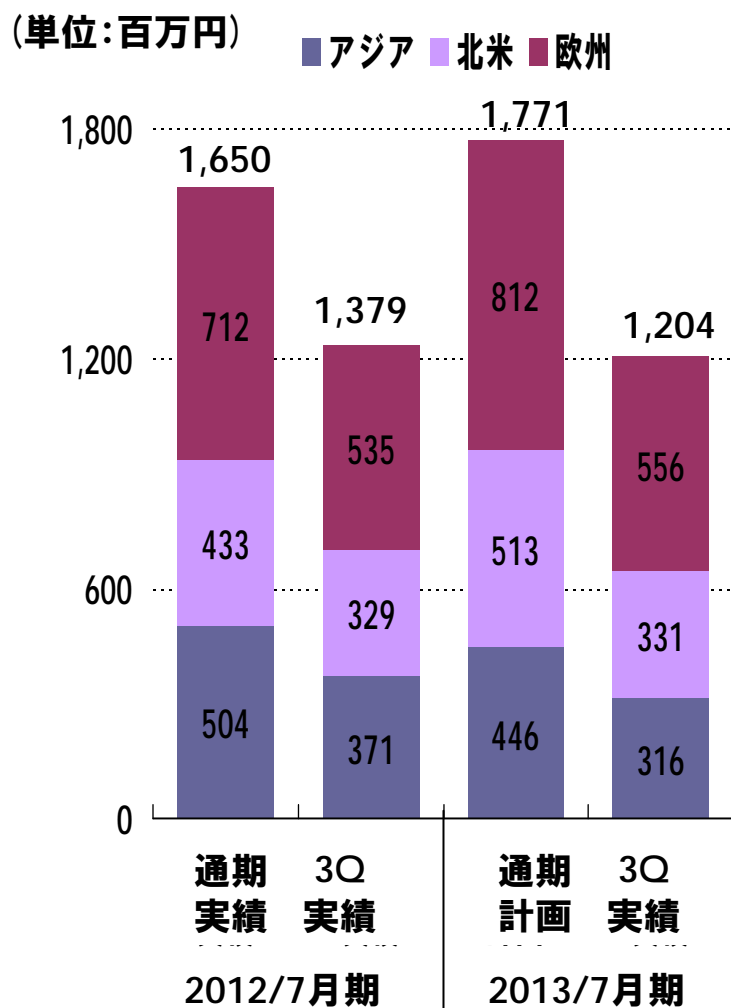
<当社の状況>

- ✓円安など明るい兆しはあるものの設備投資の動きは弱く売上は減少
- ✓競争の激化

<対策>

- ✓新しい事業領域となるラインセンサ市場、UV照射器市場の開拓、製品投入を加速
 - ▶▶ 新規アプリ、新規顧客の開拓促進
- ✓営業体制の抜本的見直しによる責任の明確化、機動性の向上
 - ▶▶ 国内営業、海外営業との連携強化
 - ▶▶ 製品企画、開発のスピードアップ

②工業用照明事業 —海外—



売上

<当社の状況>

- ✓ 欧州：経済危機の影響により不透明感は継続
しかし、12年11月を底に受注・売上は回復基調
- ✓ 北米：「財政の崖」の影響で厳しい状況が続いたが
年始より穏やかに回復の兆しあり
売上は横ばい
- ✓ アジア：中国市場での価格競争激化により
売上は減少
(韓国+2百万円、シンガポール+1百万円、
台湾▲3百万円、中国▲55百万円)

<対策>

- ▶▶ 中国LED照明メーカー、CSTとの資本・
業務提携の協議を開始(2012年10月)

<2012/7期3Qレート>

1USD=78.43円 1EUR=105.56円 1SGD=62.22円

<2013/7期3Qレート>

1USD=85.99円 1EUR=111.55円 1SGD=69.7円

②工業用照明事業 —新製品—

事業領域拡大のための新製品を投入

新規顧客・新規アプリを開拓

①UV硬化用照射器市場に本格参入 (2013年1月発売)



HLUVシリーズ

業界最高水準の放射照度を達成した「HLUVシリーズ」を標準品第一弾として市場に投入、UV照射器*市場に本格参入

*UV照射器とはUV硬化樹脂を利用した接着に使用する照射器
(UV:紫外線、ultravioletの略)

②ラインセンサ用LED照明ラインナップ拡充 (2012年11月発売)

高照度ラインセンサ用LED照明

「LNSP-FNシリーズ」

高出力紫外(UV)照射LED照明

「LNSP-UV-FNシリーズ」

専用電源PSCC-60048

LNSP-FNシリーズ



LNSP-UV-FNシリーズ

専用電源PSCC-60048

②工業用照明事業 一施策一

市場シェア拡大のため推進している施策

①国内施策

- ✓国内画像関連メーカー レボックス社との業務提携
 - ▶▶ 製品ラインアップ拡充、幅広いソリューションの提供、効率的な製品開発
- ✓営業体制の見直しによる機動性の向上
 - ▶▶ 海外進出企業のフォロー・サービス、国内・海外営業の連携強化
 - ▶▶ 東京営業所に試作機能を持たせ、顧客サービスの充実強化

②海外施策

- ✓LED照明メーカーCST(中国)との資本・業務提携に関する協議の加速
 - ▶▶ アジアをはじめとする海外市場ニーズ・規格に適合した製品投入
 - ▶▶ Middle-end、Low-endユーザーの取り込み
- ✓海外調達、海外生産の検討
 - ▶▶ 調達コスト、製造コストの見直し、削減

②工業用照明事業

—中国マシンビジョン市場—



CSTとの資本・業務提携による中国市場の押さえ込み

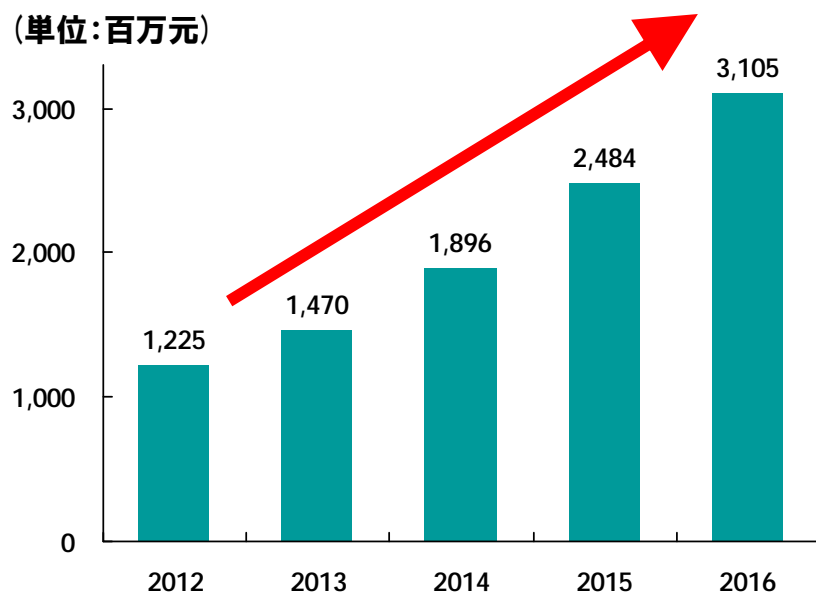
中国マシンビジョン市場：今後5年間、中国の経済成長は鈍化するものの、マシンビジョン市場は今後4年で年率平均25.3%成長

高成長の背景

品質重視：品質要求の高まりによる検査機器の需要の増加

人件費削減：人件費の上昇に対応するため、マシンビジョンによる生産効率の向上

中国マシンビジョン市場規模（予想）



*中国画像処理協会調べ

2012年 中国マシンビジョン照明市場

	売上(百万元)	構成比(%)
OPT	47	43.5
CST	31	29.0
CCS	16	14.5
OSE	6	5.8
その他	8	7.2
合計	108	100.0

43.5%

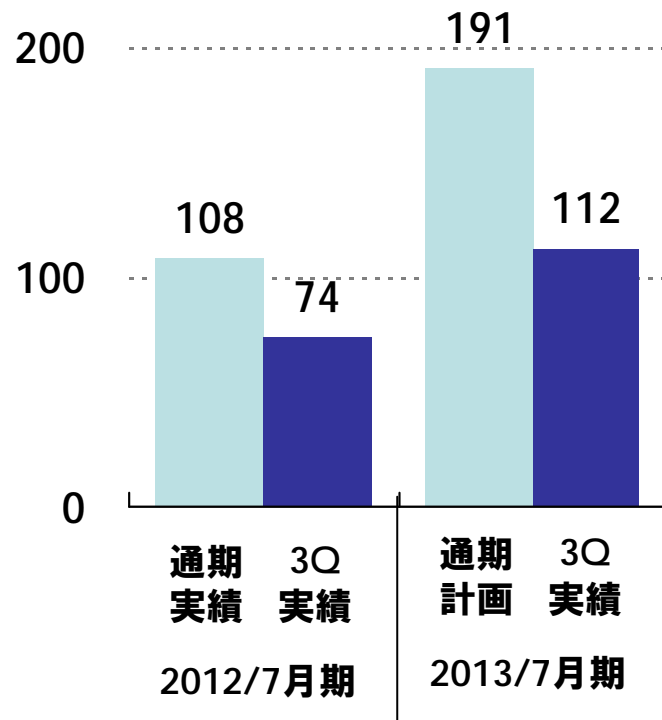
連合軍で
シェア奪還へ

*当社推計

③新規事業

- 2012/7期通期実績、2013/7期通期計画
- 第3Q売上実績

(単位:百万円)



売上

<当社の状況>

✓美術館・博物館分野

美術館・博物館のほか、寺社へも提案
海外の展示会へ出展、海外へも展開中

✓メディカル分野

全国の代理店に営業展開中

✓アグリバイオ分野(フィリップスLED照明)

全国の植物工場等に対し、営業展開中

✓デバイス事業

自然光LEDおよびUVLEDデバイスの引き
合い増加、案件大型化、事業急拡大

③新規事業 —美術館・博物館用照明—

美術館・博物館用照明の取り組み

寺社にも展開

- ・當麻寺 特別拝観 灯荘嚴～LEDで拝する當麻寺のみほとけ（2013年4月）
伽藍三堂に収蔵されている弥勒仏坐像(国宝)などの展示用照明として採用



當麻寺 金堂内

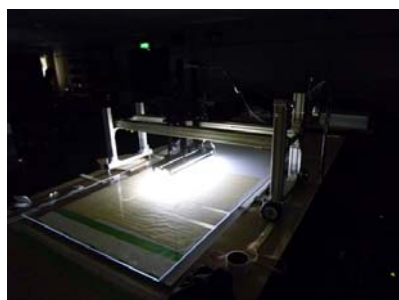
「自然光LED」を活かした製品を海外展開へ

- ・「Museum Expo（米国ボルチモアで開催）」に出展（2013年5月）
全米の美術館・博物館関係者に“自然光LED”を提案
- ・アメリカ文化財保存修復学会 第41回年次総会に出展(2013年5月)
「展示」のみならず「保存」の立場からも“自然光LED”を提案



「Museum Expo」展示会の様子

< 「自然光LED」搭載製品 >



高精細デジタルアーカイブ装置
“KUS北斎”
(ADS製)



展示用LED照明
“MUSEUM COB SPOT LIGHT”
(CCS製)

③新規事業 —デバイス事業—

デバイス事業：他社優位性・採算性のある事業に特化

LEDデバイス商材：「自然光LED」、「UV-LED」

100W電球

デスクスタンドなど

最終製品の開発を中止



トップメーカーへの提供

継続的に利益が見込めるターゲットに厳選

<案件例「自然光LED」>

・手術用照明

・デジタルカメラ用照明

など

<案件例「UV-LED」>

・ネイル硬化用照明

・歯科技工用照明

など



舞台用、歯科技工用、ネイル硬化用など
最終製品の上市、続々と始まる


3. 通期業績予想について

2013年7月期計画(連結)

(単位:百万円)

	2013/7 当初計画		2013/7 修正計画		増減	
	金額 [A]	対売上比 (%)	金額 [B]	対売上比 (%)	[B]-[A]	[B]/[A]-1 (%)
売上高	5,650	100.0	5,000	100.0	▲650	▲11.5
売上総利益	3,250	57.5	2,950	59.0	▲300	▲9.2
販管費	2,850	50.4	2,550	51.0	▲300	▲10.5
営業利益	400	7.1	400	8.0	0	—
経常利益	350	6.2	350	7.0	0	—
当期純利益	350	6.2	350	7.0	0	—

2013年7月期通期業績予想について


 第3四半期に入り一部で回復の兆しが見え始めるものの、中国市場での競争激化や国内設備投資の動きが弱いため、売上は当初予想を下回る見込み
 一方で、不採算事業の撤退、生産コスト、販売管理費の見直しなどコスト削減により収益性は改善されたため営業利益、経常利益、当期純利益は当初予想を据え置き

4. 参考資料 ～会社概要～

Creative Customer Satisfaction

社是 : 『お客様に愛と感謝』

企業理念: 『光を科学し、社会に貢献する』

基本方針: 顧客満足最大化のために

- ① 不良品を世に出さない (顧客に「安心」を)
- ② ビジネススピードを追求する (顧客に「信頼」を)
- ③ 顧客の付加価値を創造し続ける (顧客に「感動」を)

会社概要

- 商号 シーシーエス株式会社
- 本社所在地 京都府京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町374
- 代表者 代表執行役社長 各務 嘉郎
- 創業 1992年
- 設立 1993年10月
- 資本金 462百万円
- 従業員数 206名(連結)、183名(単体)
- 発行済株式総数
普通株式 20,690株
A種優先株式 5,103株
- 株主数
普通株式 2,697名
A種優先株式 4名
- 連結子会社 CCS America Inc. / CCS Asia PTE.LTD./ CCS Europe NV./CCS-ELUX LIGHTING ENGINEERING PVT.LTD.
- 拠点数 国内 6ヵ所 / 海外(連結子会社含む) 7ヶ所



本社(京都市上京区)

(2013年1月末現在)

沿革

- 1992 創業
- 1993 シーシーエス株式会社設立
- 1999 CCS America Inc.(100%子会社)を設立(ボストン)
- 2000 東京営業所を開設(品川区高輪台)
- 2001 本社移転(現在の本社)
- 2003 上海事務所を開設(中国 上海市)
- 2004 ジャスダックに上場
RDV(S)PTE LTD社を子会社化(シンガポール)
CCS Europe NV(100%子会社)を設立(ベルギー)
- 2007 生産拠点と物流拠点を統合し、生産センターを開設(京都市下京区)
仙台テストングループを開設(宮城県仙台市青葉区)
KRPで研究開発事務所を開設(京都市下京区)
山口大学との共同開発で「自然光LED」照明を開発
- 2008 シーシーエス光技術研究所を開設(京都市上京区)
深セン駐在員事務所を開設(中国広東省深セン市)
名古屋営業所を開設(名古屋市中村区)
植物育成プラント事業に参画することを目的としてフェアリープラントテクノロジー社
(2010年9月29日フェアリーエンジェル社より商号変更)を連結子会社化
- 2009 医療機器製造業および第三種医療機器製造販売業に関する許可を取得
- 2010 タイ・バンコクにCCS Asia PTE.LTD.駐在員事務所を開設
- 2011 CCS-ELUX LIGHTING ENGINEERING PVD.LTDを設立(インド)
- 2012 連結子会社であるフェアリープラントテクノロジーを解散

参考資料:LED開発の歩み

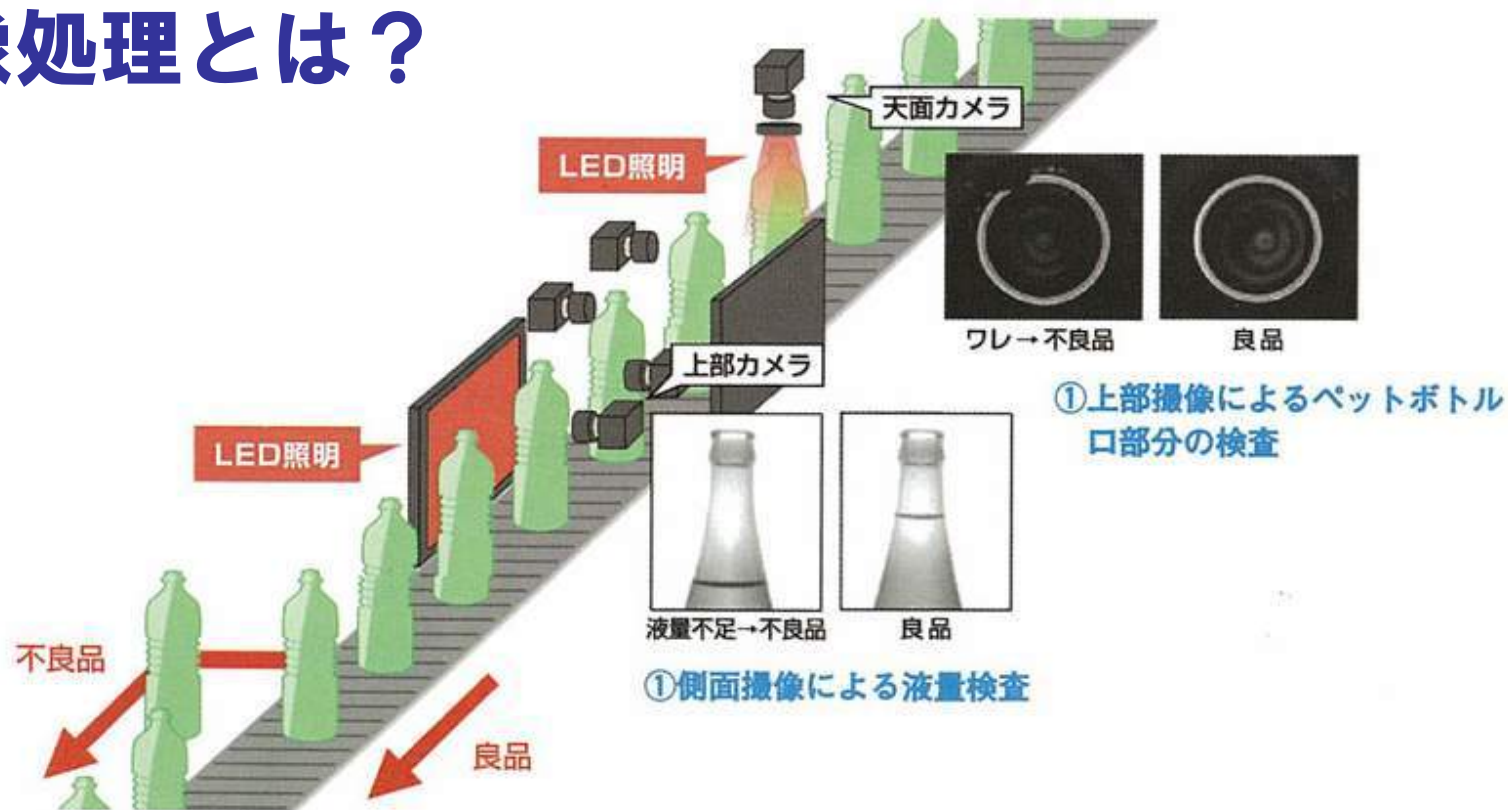
- 1962年 赤色と黄緑色が開発
- 1970年代 赤色と黄緑色が実用化
- 1993年 青色が製品化
- 1995年 純緑色の開発
光の三原色がそろそろ
- 1996年 白色が開発

- 現在 発光効率の向上
高演色性白色の開発

シーシーエスの主力事業

CCSは、画像処理用LED照明市場で国内・海外ともに
トップシェアを占める リーディングカンパニーです。

画像処理とは？

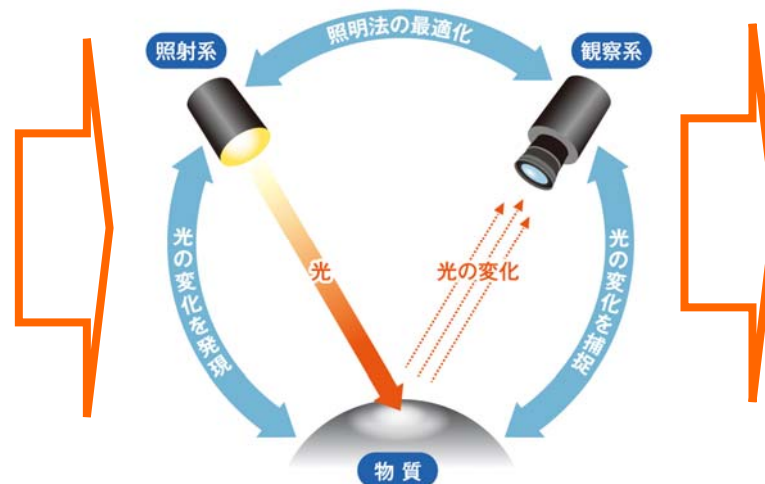


ライティングソリューションの重要性

<照明法の最適化>



流通している硬貨。
実際に検査しているものではありません。



伝搬方向を最適化
見えなかった、
500円の文字を抽出。

同じ対象物でも見え方が全く異なります。
この光の選び方が技術・ノウハウである、
「ライティングソリューション」です。

信頼の実績とサポート体制

- 40,000件以上のワーク撮像実績
- 約4,000種類のカスタム照明の設計・開発・製作
- 数百種類、数千台に及ぶ無料貸出機を準備
- エリア実験室、ラインセンサ用実験室を完備



エリア実験室



ラインセンサ用実験室

シーシーエスの事業領域

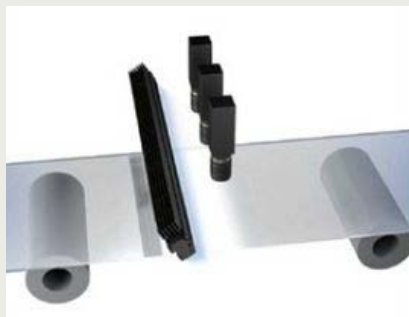
新規事業分野



工業用照明分野

マシンビジョン用照明分野

(エリア照明・ラインセンサ用照明)

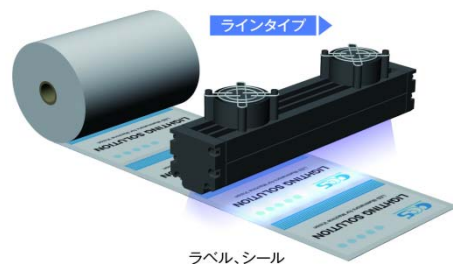


新規FA分野照明

(UV照射器

顕微鏡用照明)

■ UVインクの硬化



商業分野

美術館・博物館用照明



メディカル分野

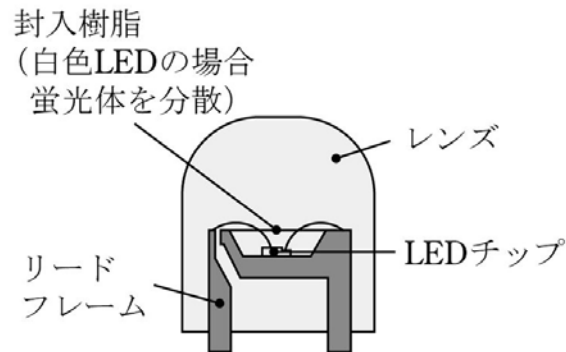


アグリバイオ
分野

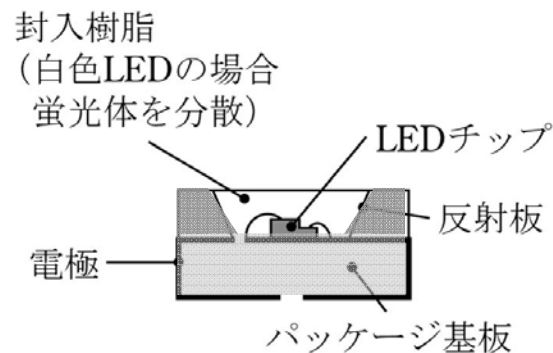


LEDの種類と構造

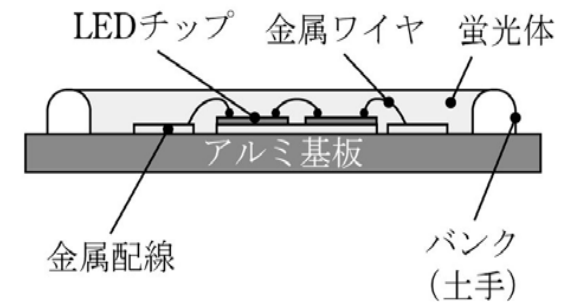
LEDは、LEDチップ、蛍光体、パッケージや封止樹脂などさまざまな部材を組み合わせ、複雑な光学現象、化学現象、構造力学現象をハンドリングしてつくりだされています。



砲弾型



表面実装(SMD)



チップオンボード(COB)

* 参照: 社会法人日本電気技術者協会 電気技術開設講座

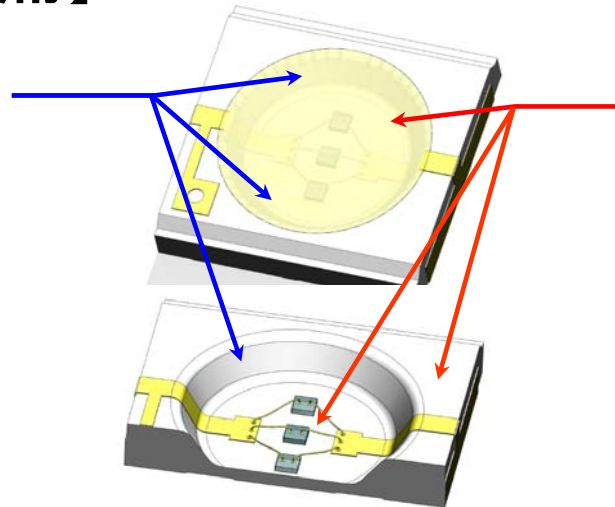
シーシーエスは、独自の技術で設計開発を行いオリジナルLEDの開発に取り組んでいます。

LEDデバイス技術

【SMDパッケージング技術】

高効率化

【蛍光体】
材料及び封止方法の最適化
【封止樹脂】
材料特性、表面形状の最適化
【リフレクタ形状最適化】
壁面高さ、角度、高反射率



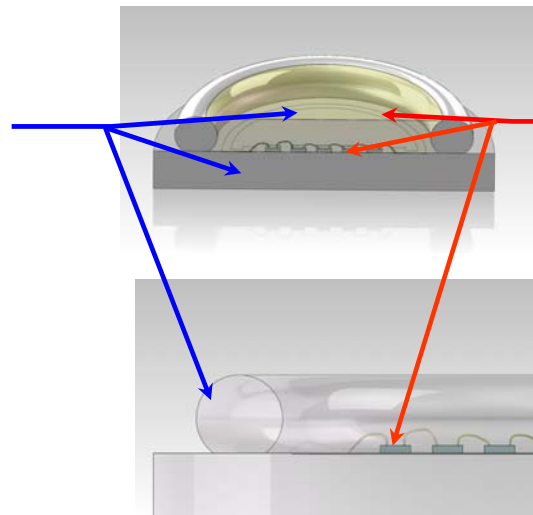
長寿命化

【封止樹脂】
耐熱・耐光性向上
【ボンディング材料】
耐熱・耐光性向上、高放熱性
【パッケージ材料】
高反射率、高放熱性

【COB実装技術】

高効率化

【蛍光体】
材料及び封止方法の最適化
【ダム材】
高反射率、成型化
【基板材料】
高反射率、高放熱



長寿命化

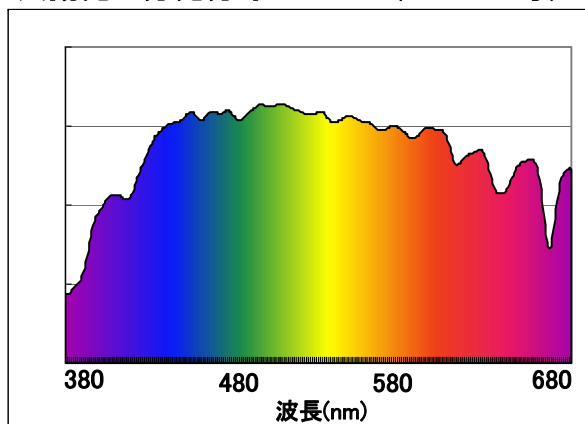
【封止樹脂】
耐熱・耐光性向上
【実装パターン】
狭ピッチ、高反射率
【ボンディング材料】
耐熱、耐光性向上、高放熱性

「自然光LED」とは

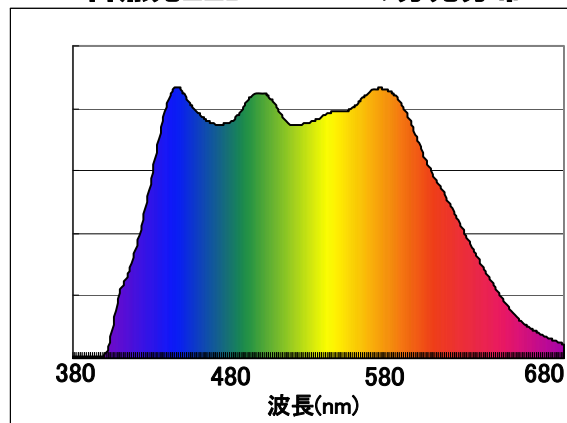


独自に開発した太陽光に近い光を再現する「自然光LED」
色の再現性を標準化・数値化した平均演色評価数*において、
業界最高クラス“Ra98”(相関色温度:5000 K)を達成

太陽光の分光分布 5200 K(AM:10時)

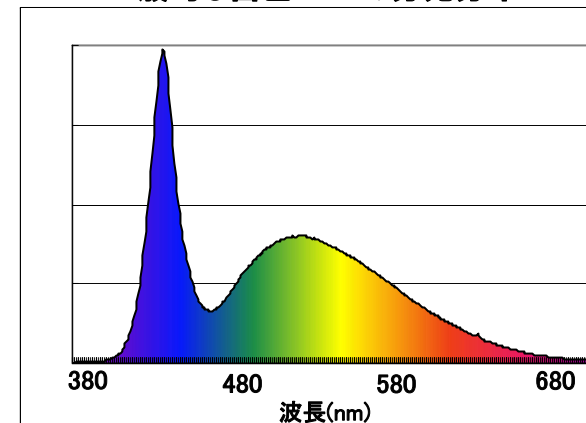


“自然光LED5000 K”の分光分布



太陽光に近い分光分布で物体の色を忠実に再現

一般的な白色LEDの分光分布



青色LEDの青が極端に強い

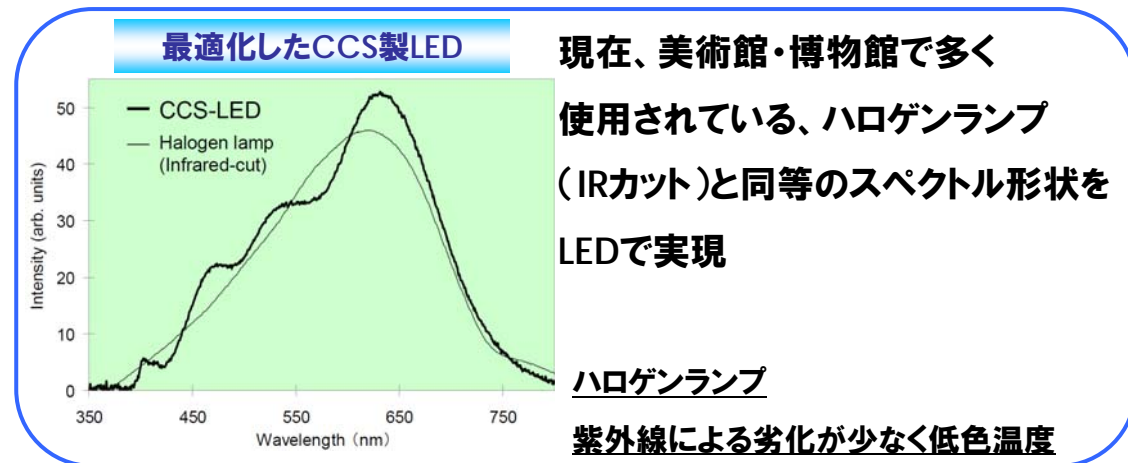


肌の色も自然に美しく魅せることができます

平成24年度 照明学会第45回 全国大会

- ▶▶ 5-13 ミュージアムにおける色温度可変展示の考察
- ▶▶ 9-8 ハロゲンランプと同等の可視域分光分布を持つLEDの開発と被照射物に対する低損傷性の評価

CCS製LEDがハロゲンランプと同等の低損傷性であることが実験的に検証された

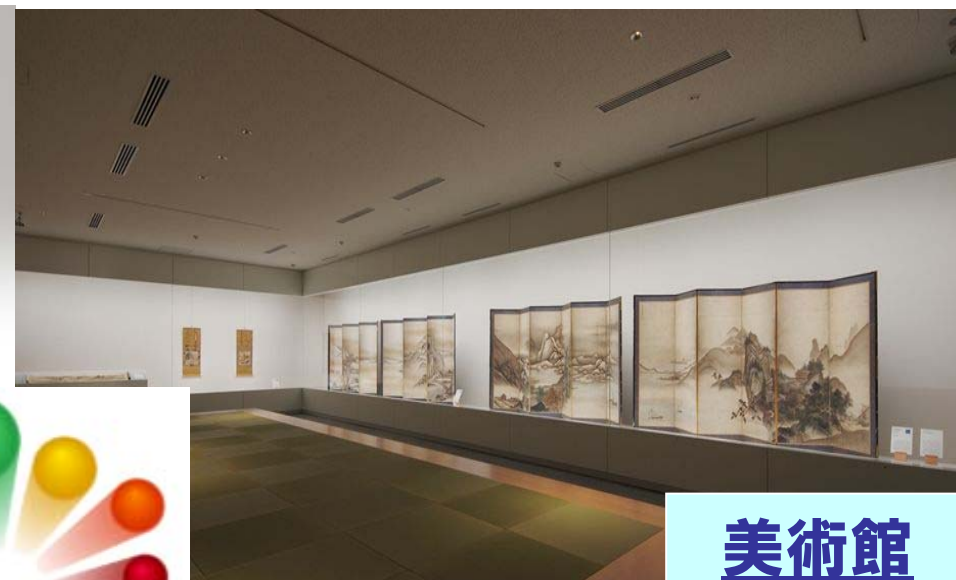


- ▶▶ 9-9 紫色LEDを利用した美術館展示に関する研究

「自然光LED」搭載照明の商品化に注力



顕微鏡



美術館

生鮮食品などのショーケース用照明

光源から熱を出さず
生鮮食品を傷めず、店内の空調コストも抑制できます。

こんなに見え方が違います！
特に赤い野菜や果物は自然光LEDの光で色が鮮やかに見えます。もちろん、手も自然光LEDのもとでは肌の色がきれいに見えます。

--	--	--

食品



ホテル・会場

設備投資・減価償却・研究開発費の推移



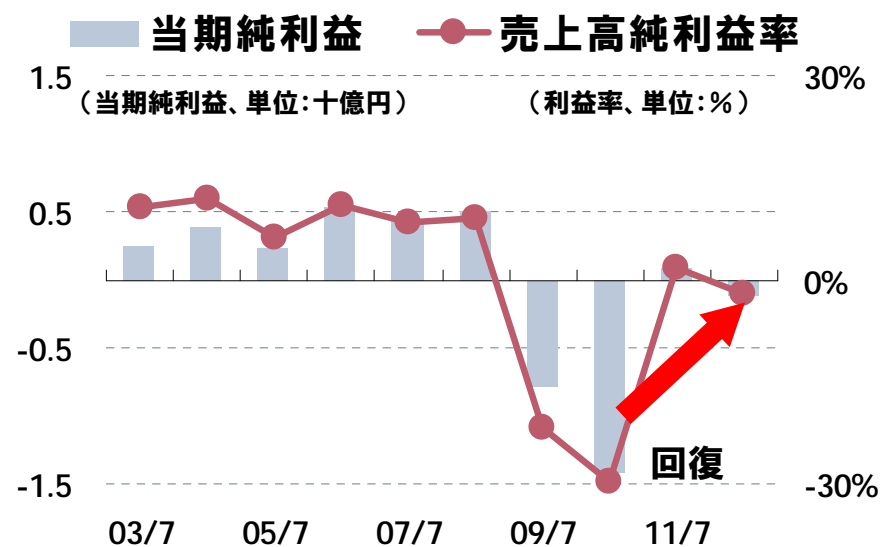
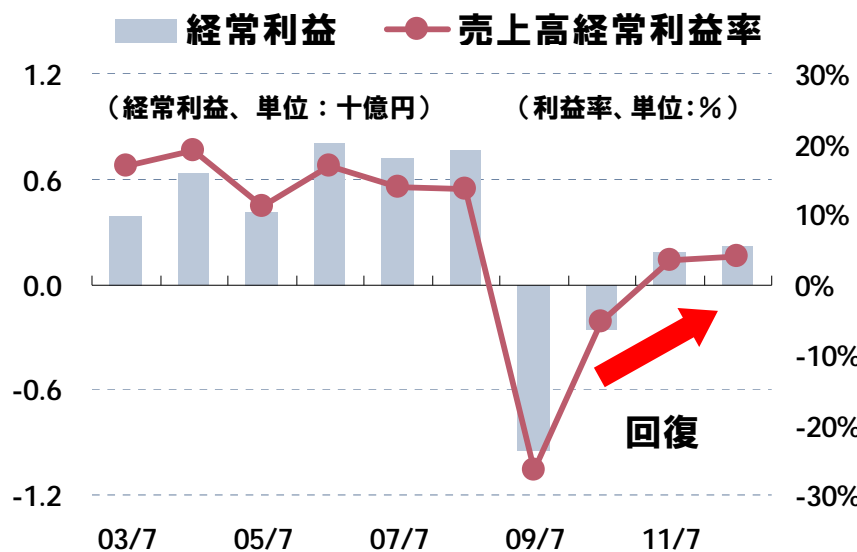
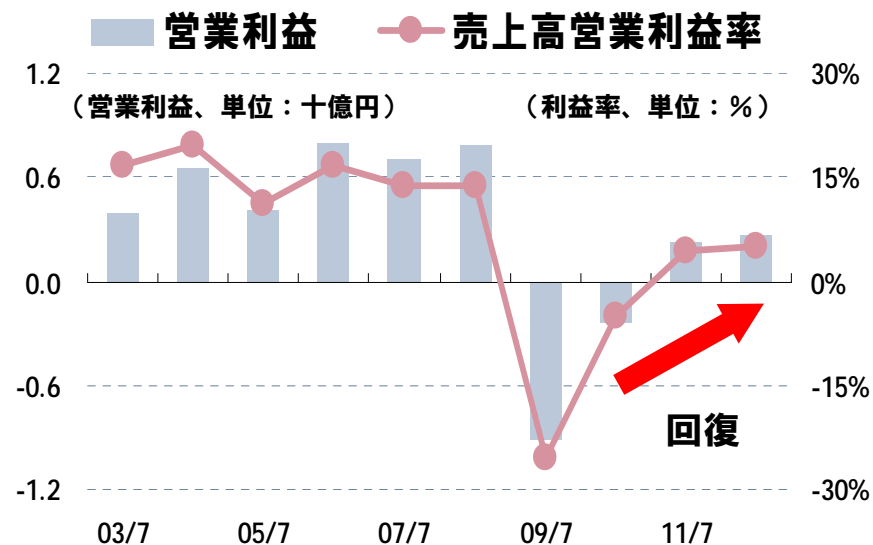
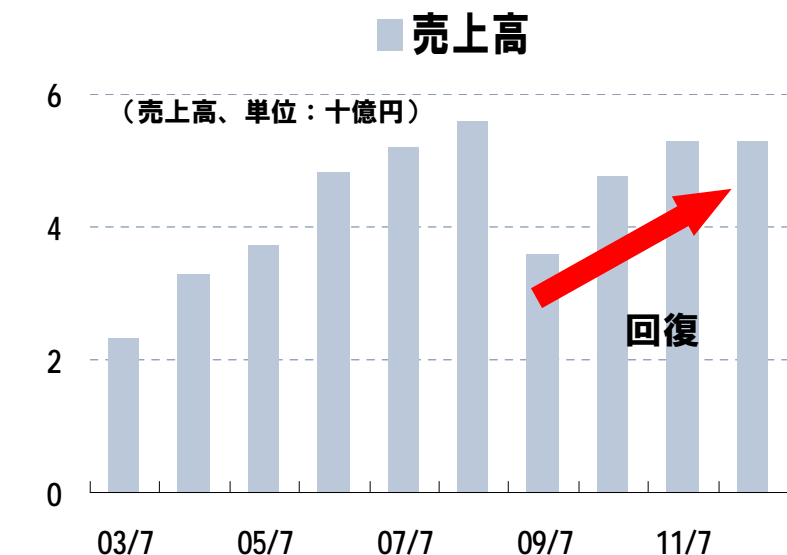
(単位：百万円)

	10/7 通期	11/7 通期	12/7 通期	13/7 3Q末	13/7 通期計画
設備投資	102	80	94	79	200
有形固定資産	68	61	77	73	150
無形固定資産	34	19	17	6	50
減価償却	355	166	145	86	157

(単位：百万円)

	10/7 通期	11/7 通期	12/7 通期	13/7 3Q末	13/7 通期計画
研究開発費	530	684	570	317	504
対売上比率	9.0%	12.9%	10.8%	8.9%	8.9%

業績・財務指標の推移(1)



業績・財務指標の推移(2)

